

第71回 長野県透析研究会学術集会

The 71st Annual Meeting of the Nagano Society for Dialysis Therapy

テーマ

腎代替療法のサステナビリティ

特別講演 「安静12誘導心電図から透析患者の心予後を予測できたらいいのに…」
常喜 信彦 先生(東邦大学医療センター大橋病院)

シンポジウム 「透析医療における災害連携を考える」

ランチョンセミナー ①「CLTI患者におけるレオカーナ治療の実際」大久保 淳 先生(東京医科歯科大学病院)
②「どうしてリンを下げなくちゃいけないの？」風間 順一郎 先生(福島県立医科大学)

(写真) 若穂保科 清水寺の紅葉 ©(公財)ながの観光コンベンションビューロー

会期

2023年 **11月12日** 日

会場

信州大学医学部附属病院

〒390-8621 松本市旭 3-1-1

【大会長】 掛川 哲司 地方独立行政法人 長野市民病院
腎臓内科部長

～ハイブリッド形式にて開催～
(現地会場・オンライン同時開催)

■ 事前参加登録はホームページから

ホームページ▶ <http://www.nagano-dialysis.jp/71st/>



事前参加申込 **9月1日** 金～**10月10日** 火 正午まで

主催/長野県透析研究会

共催/長野県透析医会、(一社)長野県臨床工学技士会

後援/公益財団法人日本透析医学会、公益社団法人 日本臨床工学技士会

お問い合わせ

第71回 長野県透析研究会学術集会 大会事務局 地方独立行政法人 長野市民病院 診療技術部 臨床工学科 [事務局長]丸山卓也
〒381-8551 長野市大字富竹 1333-1 [TEL]026-295-1199(内線 4354) [FAX]026-295-1148 [mail] 71st.nagano-dialysis@hospital.nagano.nagano.jp

第71回 長野県透析研究会学術集会 開催にあたり



一般社団法人日本透析医学会 関連地方学術集会
第71回 長野県透析研究会学術集会

大会長 **掛川 哲司**

地方独立行政法人 長野市民病院 腎臓内科部長

第71回長野県透析研究会学術集会のテーマは「腎代替療法のサステナビリティ」とさせていただきます。

サステナビリティ (sustainability) とは「持続可能性」と直訳されます。第67回日本透析医学会学術集会のテーマが「透析医療のSDGsを求めて」でしたが、このSがSustainableです。リスペクトを込めつつ、拡大解釈させていただきました。

世界に誇る日本の医療制度、皆保険制度は収支の面からその持続可能性について懐疑的な意見も耳にします。その中でも、透析治療の医療費はしばしば話題になり、対策として健康寿命を延ばすためのCKD対策が重要視されています。働き方改革による医療スタッフの長時間労働や疲弊を避ける取り組みも、福祉の持続可能性を高める一つの取り組みと考えられます。

血液透析、腹膜透析、腎移植にCKM (Conservative kidney management) も含めてのSDM (Shared decision making) をもとした患者主体の治療により、患者を取り残さない多様性のある医療の提供が期待できます。創造的な臨床コミュニケーションが患者満足度の高い、将来につながる持続可能な医療を提供できます。

自然災害の発生自体を無にすることは出来ませんが、災害を最小限にする事は可能です。経験と英知を結集して、災害時にも持続可能な医療と福祉を提供できる体制を将来にわたって構築する事が必要です。

第71回長野県透析研究会学術集会は、会場とオンラインのハイブリット開催とさせていただきます。南北に長い信州においてオンラインでの学会参加はメリットが大きいと考えます。ただオンラインで会場の空気感をお伝えするのは難しい面もあります。

感染症流行下においても持続可能な、学会活動の新しい形を皆様と模索したいと思います。是非、当学術集会への積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

会場案内

